

パラグライディングクロスカントリー日本代表チーム選手選考規定 【改定日：2021年1月1日】

1. 選考基準

- ・日本代表チーム選手選考は日本代表選抜ランキングと主催者の選考基準に合わせて行われる。
- ・選考基準が主催者により設定されない場合は、日本代表チーム選手選考は原則として代表チーム派遣大会の開催される前年度の日本代表選抜ランキングのポイント 100%と前々年度の日本代表選抜ランキングのポイント 50%の合計により、その上位から順に選考する。
- ・同点が出た場合は、前年度のポイントが高い方を高順位とする。
- ・国際大会のエントリー締め切り日が当該国際大会の開催される前年度中に設定されている場合は、競技委員会が別途定めた締め切り日までの大会をランキングに計上し選考する。

2. 選考ランキング

- ・日本代表選抜ランキングは、PJL 大会で成立したタスクのどれか1本のデイクオリティが 0.6 以上となった大会の総合順位および、次項に定める国際大会の総合順位に対して与えられる点数のうち高いほうから 3 大会（ただし、少なくとも 1 大会は PJL 大会とする）の点数を合計してつけるランキングである。
- ・PJL 大会に参加・受付した場合において、いずれの大会もデイクオリティが 0.6 以上のタスクが成立せず PJL 大会ポイントが計上出来なかった場合、2 大会までは国際大会ポイントを計上可能とする。

3. 選考対象国際大会

- ・日本代表選抜ランキングに計上できる国際大会は海外で開催された FAI カテゴリー2 以上の国際大会とする。
- ・国際大会をポイントに計上したい選手は原則として大会終了後 3 ヶ月以内に JHF パラグライダー競技委員会（pgc@jhf.hangpara.or.jp）まで計上したい国際大会名・自分の順位と、「CIVIL World Ranking」に掲載された当該大会の成績ページ URL を報告する。

CIVIL World Ranking <http://civlrankings.fai.org/?a=327&l=0&ladder_id=3&ranking>

- ・「CIVIL World Ranking」に掲載された時点（大会開催月の翌1日）で、当該国際大会は日本代表選抜ランキングに計上可能とする。（CIVIL World Ranking 掲載が年をまたがる場合は、大会開催年度ランキングへの計上とする）

4. PJL 大会ポイント

- ・日本代表選抜ランキングの各大会におけるポイントは次の通りとする。

ポイント = $N \times (1 + S/100) \times (1 + R \times 5/100)$ （小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで算出する）

ここで $N = -\alpha \sqrt{\text{（本人順位} - 1\text{）} + (50 - P)}$

ここで $\alpha = (49 - P) / \sqrt{\{(\text{成立したタスクにおける参加者数累計}) / (\text{成立した本数})\} \times 0.6 - 1}$

$P = 30 - (\text{成立したタスクにおける参加人数累計}) / (\text{成立したタスク本数})$ とし、この値が負にな

った場合は0とする。

$R = (\text{大会における各タスクのデイクオリティの合計値} - 1)$ で最大値は3とする。

$S = \text{成立した各タスクに参加したシード選手のシード係数値の合計を、その大会期間中で合算したものを、その大会で成立したタスク本数で割った数値とする。}$

- ・同順位が複数出た場合は同順位者を繰り下げた順位までの平均点とする。

5. 国際大会ポイント

- ・国際大会のポイントは、「CIVIL World Ranking」の大会別に付与されるポイントを基準とし、総合順位に応じた次の係数を掛けたものを計上する。基準とする「CIVIL World Ranking」ポイントは、時間経過に伴うポイント減算は考慮しない。

国際大会の総合順位	係数
1位～3位	100%
4位～6位	90%
7位～10位	80%
11位～15位	75%
16位～20位	70%
21位～30位	65%
31位～50位	60%
51位以下	50%

6. その他の要件

- a) JHF フライヤー登録が有効であること。
- b) 有効な日本の FAI スポーティングライセンスを所持すること。
- c) 理事会の承認を受けること。